

大学の世界展開力強化事業(2022年度選定) 東北大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2022年度)

レジリエントな社会を創造する日英米大学の国際連携

【交流推進事業の概要】

レジリエントな社会を創造する日英米大学の国際連携

- 激甚化・複雑化する自然災害や感染症等のあらゆる災害に対してレジリエントで且つ人々が心豊かに生活することのできる未来社会の創造と国際展開の実現に貢献できるようなグローバルリーダーを育成・輩出
- 東北大学が強みとするレジリエンス社会実現のための国際的に質の高い大学教育モデルを英米のパートナー大学や産業界・地域社会と協働して開発し、世界に発信



【交流プログラムの概要】

レジリエントな社会の創造に向けた取り組みを先導する東北大学と共通する価値観を持つ海外相手大学との連携により、レジリエントな社会の実現の基礎となる多様性・公正性・包摂性に基盤を置きつつ「グローバル・レジリエンス」マインドセットの涵養を図る国際交流・国際教育を学部学生を中心とした日英米の学生を対象に実施するとともに、大学院レベルでの最先端の教育研究に基づいて「グローバル・レジリエンス社会」を創造し国際展開の実現を担う人材の育成を行う。レジリエンス社会実現の現場(フィールド)ともいえる東日本大震災の被災地で共に学ぶことにより、日本と各国の架け橋になる人材の育成にも資する。

【本事業で養成する人材像】

地球温暖化等の環境・社会問題を解決し、自然災害や感染症等のあらゆる災害に対してレジリエントで、かつ人々が心豊かに暮らすことのできる未来社会を創造し国際展開に貢献できるようなグローバルリーダーを養成する。具体的には、1) 多様性(Diversity)、公正(Equity)、包摂性(Inclusion)(DEI)への意識を持ち、グリーンテクノロジー、SDGs、防災・減災等について国際的視野で理解する「グローバル・レジリエンス・マインドセット」を持つ人材を広く育成する。さらに、大学院においては、上記に加えて、2) 海外有力大学との最先端共同研究・共同指導を通じ、レジリエンス社会実現に資する高度専門人材を育成する。

【本事業の特徴】

東北大学は震災から10年を経た2021年にこれまでの取り組みを発展させ、①復興&レジリエンス、②グリーンテクノロジー、③社会改革&包摂を柱とする「グリーン・ゴールズ・イニシアティブ」を掲げ、全学で組織的に推進している。本事業においては、こうした中長期的

ビジョンに基づき、全学的な責任・協力体制の下で、これまで戦略的に関係を構築してきた英国・米国のパートナー大学(ユニバーシティカレッジロンドン(UCL)、ヨーク大学、イーストアングリア大学、ワシントン大学)とともに、重層的に「グローバル・レジリエンス」を涵養する国際交流・国際教育プログラムを実施するとともに、国際共同学位プログラムの創設を目指す。

【交流予定人数】

		2022	2023	2024	2025	2026
派遣	実際に渡航する学生	3	10	15	20	22
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	5	10	10	10	10
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	5	10	15
受入	実際に渡航する学生	0	10	20	25	30
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	5	5	5	5	5
	実渡航とオンライン受講を行う学生	5	5	10	15	15